

青南幼稚園より 4月号 南幼稚園だり

平成25年4月8日

園長 茂木 尚子

青南幼稚園の子供たちのために

やわらかな春の日差しが園庭の木々の若葉に降り注ぎ、平成25年度がスタートします。ご入園、ご進級おめでとうございます。3歳児20名、4歳児27名、5歳児25名の園児が心も体も、優しく、強く、元気に伸びていくように、青南幼稚園の教育を進めてまいります。

さて、春季休業中のある日のこと、二人の男子が幼稚園を訪ねてきました。聞けば、9年前に青南幼稚園を修了したとのこと。当時の先生の名前も忘れていませんでした。保育室や園庭を案内すると、「なつかしい！この積木で遊んだのを覚えています」「(幼児椅子に座って)小さい！こんなに小さいのに座っていたんだ！」「(カメを見て)かめきちとかめたろうですか。僕、世話しました。この入れ物を洗ったり・・・」など、二人はしきりになつかしがり、まるで当時の園生活にタイムスリップしたかのようでした。最後に「お忙しい中、ありがとうございました。本当に来てよかったです」と言って笑顔で帰って行きました。

そんな二人の様子を見ていて、私もとても幸せな気持ちに包まれました。きっとこの二人は、青南幼稚園で思いっきり遊び、心の底から楽しいと思える幼稚園時代を過ごすことができたのでしょう。だからこそ幼稚園を訪ねてみようという気持ちになったのだと思います。また、一人が「この滑り台にベンチを掛けてよく遊びました。今もそうして遊んでいますか」と私に質問し、今も幼稚園児が同じように遊んでいることを伝えると、笑顔がパツと広がりました。自分たちが本当に楽しいと思った遊びが、今も途切れることなく受け継がれていることを心の底から喜んでいるように見えました。二人の突然の訪問は、さわやかな、幸せな余韻と、『青南幼稚園を愛する気持ち』の確かな存在を私の心に残してくれました。

いつも青南幼稚園の周りには青南幼稚園を愛する気持ちがあふれています。保護者や地域の方々はその気持ちに支えられ、教育活動を進めていくことができることに感謝しています。青南幼稚園の園児すべてが、幸せでかけがえのない、宝物のような幼稚園時代を過ごせるように、園児・教師・保護者・地域の方々がつながり、『子供たちのために』を合言葉に、共に手を携えていきましょう。



カエデの木



カイドウの木



ヤマブキ



チューリップ

3歳児○幼稚園の生活の仕方を知り、安心して過ごす。

○好きな場で遊んだり、教師との触れ合いを楽しんだりする。

4歳児(新入園児)○幼稚園の生活を知り、自分の好きな場所や遊具を見付けて安心して過ごす。

(進級児)○新しい環境に慣れ、生活の仕方を知り、好きな遊びを見付けて自分から取り組もうとする。

(共通)○教師と触れ合い、一緒に遊ぶ中で、親しみの気持ちをもつ。

5歳児○年長組になったことを喜び、新入園児の世話や当番活動など、新たな活動に意欲をもって取り組む。

○2階の保育室や遊戯室などの生活の場を自分たちで整え、場や遊具の安全な使い方に慣れて、自分たちのしたい遊びを友達と一緒に楽しむ。